

海外知的財産プロデューサー プロフィール紹介

海外知的財産プロデューサーはこんな人達です。皆様へのご支援はチームでご対応いたします。



○ 加茂 広 (かも ひろし)

国内機械製造業で37年勤務し定年退職。主として知的財産部門（技術契約、模倣品対策、商標、意匠、知財管理など）にて30年以上の経験を有する。この間、米国テクニカルセンターに約4年半（人事、総務、法務担当）、中国テクニカルセンターに約4年間（知的財産機能立ち上げ、模倣対策実施）の駐在経験あり。中国駐在中、日本商工会北京IPGにて現地の知的財産環境の改善に取り組み、日本においては業界団体の模倣品対策WGリーダー、IIPPF（国際知的財産保護フォーラム）メンバーとして活動。

○ 久永 道夫 (ひさなが みちお)

国内機械製造業で36年間勤務し、定年退職。研究開発部門（機械、材料など）にて約15年、知的財産部門（契約、商標、特許、模倣品対策、技術流出防止など）にて約20年の経験を有する。この間、米国の大学に約2年間留学、中国（テクニカルセンター、知的財産機能及び技術管理機能の立ち上げ、契約、模倣品対策、監査など）に約5年半駐在、日本の大学（契約、商標、特許など）に約2年半出向。中国駐在中は上海IPGの会長として日系企業の知的財産保護活動の拡充に努めた。国際契約、機密保持監査について特に豊富な経験を有する。





○ 茂木 裕之 (もぎ ひろゆき)

国内機械製造業で29年勤務。研究開発部門や知的財産権部門のほか事業企画部門にて勤務し、出願、ライセンス交渉、ライセンス契約、模倣品対策等の実務に従事。知財の生成から活用、事業寄与までの一貫した知見を有する。この間、タイ国・バンコクにて約2年間駐在し、アジア・大洋州地域の事業統括として知財部署の設立や関係会社の知財支援、同地域の全域における係争交渉や侵害訴訟実務に当たった。

○ 川島 泰介 (かわしま たいすけ)

国内機械製造業で約25年勤務。主として法務・知的財産部門にて出願・権利化から係争・訴訟対応やライセンス交渉・契約などの渉外業務まで幅広い実務と指揮監督に当たった。この間、中国・北京に約5年駐在し、現地知財体制の構築や模倣品対策・訴訟対応などに従事。在外政府機関での勤務経験もあり、日系進出企業が直面する知財問題にも精通している。



大切な「知的財産」を失う前に使える「転ばぬ先のつえ」となりたい、
これが「企業人」感覚を有する
海外知的財産プロデューサー達の一致した願いです